

ぼくたち、わたしたちからはじめる 景観づくり



みんな、景観づくりのことが少しはわかったかな？
景観づくりにかかわる取組はいろいろあるよ！ できることから始めてみよう！

見に行こう！

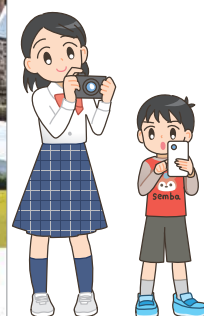


自分の住むまちの魅力的な
景観を探しに行こう！



歴史的建造物を見学したり、
観光スポットに行ってみよう！

イベントに
参加しよう！



写真を撮って、フォトコンテストに
参加しよう！



地域のおまつりやイベントに
参加することも、地域らしい
景観を守ることにつながるよ！

美化活動に
参加しよう！



地域の道路の清掃や
花壇づくりに参加しよう！



川や湖などの清掃や
ゴミ拾い活動に参加しよう！

熊本市景観計画 小中学生向け概要版

みんなでつくる これからの 熊本の景観



- 1 南越展望所から見る河内のみかん畑と有明海
- 2 花畑広場(シンボルプロムナード(2022年くまもと花博))
- 3 城南町塚原古墳公園
- 4 水前寺成趣園
- 5 電車通(通町筋電停)から見る熊本城
- 6 泰平橋から見る白川の流れ
- 7 明八橋ライトアップ
- 8 木原地区六殿神社の紅葉

気づいたことや、感じたことが
あればこちらまで

熊本市 都市建設局都市政策部 都市デザイン課
〒860-8601 熊本県熊本市中央区手取本町1-1
電話 096-328-2508
✉ toshidesign@city.kumamoto.lg.jp
発行：令和6年1月

熊本市景観計画 小中学生向け概要版について

この概要版は、将来を担う子どもたちに、「景観」に興味を持ってもらい、
景観計画を知ってもらうために、小中学生向けとして作成しました。
なお、小中学生向けとなっておりますが、一般の方にもわかりやすく
読んでいただけるものとなっています。

ワガハイと一緒に
景観について学ぼう！

案内人：タヌキの『洗馬くん』



「景観」ということばを知っていますか？

景観と似たことばに、風景、景色、見晴らしなどがあります。

景観の「景」と「観」にはそれぞれ意味があり、「景」は、ある場所から見たそのもののながめ

「観」は、見たときに感じる心の動きや印象、価値観を意味します。

つまり、景観は、ながめられる「もの」とそれを見る「ひと」によって成り立っています。



景観は、見るひとによって
印象や感じ方が少しずつちがうよ！

あなたの住むまちにはどんな景観がありますか？
あなたの住むまちの景観をどう思いますか？

写真を見て、どう感じますか？



城南町の田園

健軍自衛隊通りの桜並木

子飼商店街



電車通(新町電停)

長六橋から見る白川の流れ

植木町住宅団地

良い景観って何だろう？

多くのひとが心地いいな、すてきな
なと思える景観が「良い景観」といえます。

洗馬生まれのワガハイは、
船場橋から見る熊本城が
好きなんだ。みんなはどう思う？



船場橋から見る熊本城

良い景観が増えるとどうなるの？

「良い景観」が、あなたの暮らす地域が増えていくと、そのまちの魅力がアップします。

- 自分の暮らすまちが好きになる！
- 心地よくて、住み続けたいと思える！
- 自分のまちを紹介したり、じまんしたくなる！
- 景観を気に入って移り住んだり、
観光客が増えたりしてまちが元気になる！

自分の住むまちの景観がよくなると、
こんな効果が期待できるよ！



景観を良くするための計画『景観計画』

景観計画は、景観に関する法律にもとづいてつくられる計画です。
熊本市も、熊本市景観計画によって、より良い景観づくりのために
いろいろな取組を行っています。

熊本市景観計画は、令和6年(2024年)1月に改定され、さらに充
実した内容になりました。

計画は、市のホームページからダウンロードして見ることができ
ます。



二次元コードからチェック！

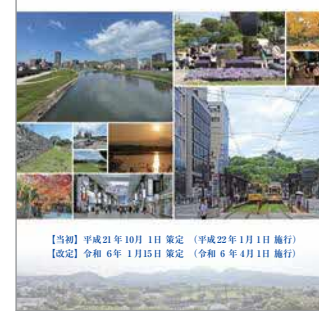
https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/Detail.aspx?c_id=5&id=52941

ここから、熊本市景観計画に
どんなことが書かれているか、
かんたんに紹介するよ！



熊本市景観計画

水と緑と歴史を活かし
地域と共に賑わいと活力を育む
くまもとの景観づくり



【当初】平成21年10月1日策定（平成22年1月1日施行）

【改定】令和6年1月15日策定（令和6年4月1日施行）

熊本市の景観の特徴を教えて！

“どこにいても”自然・歴史・暮らしが感じられる都市

熊本市では、緑・水などの豊かで美しい自然、地域の歴史や文化、人々の暮らしやにぎわいなどがいくつも重なった景観をあちこちで見ることができます。そんな“どこにいても”自然・歴史・暮らしが感じられる環境が、熊本らしい景観の特徴といえます。



上江津湖



熊本市は山々にかこまれ、まちなかにも公園、街路樹のみどり、川や遊水池など、自然がいっぱい！



瑞鷹倉庫(川尻)



市内には歴史的建造物や史跡がたくさん残っていて風情があるね！



電車通(通町筋電停)から見る熊本城



熊本市の中心部である熊本城周辺は、商店街や駅前広場、花畑広場など、人々にぎわって活気があるね！



健軍商店街ピアクレス



郊外は地域によって色々な景観が見られるよ。商業地や農業地、住宅地など、人々の生活によって育まれているよ。

景観づくりをすすめていくには、どんな景観をまもるのか、どんな景観をつくっていくのか、みんなの考えを共有することがだいじなんだ！



どのような景観をつくっていくの？

水と緑と歴史を活かし
地域と共に賑わいと活力を育む
くまもとの景観づくり



● 景観づくりの目標

眺望景観づくり

歴史や自然を感じられる熊本らしい眺望景観づくりをめざします

沿道景観づくり

主な道路や鉄道沿いのまちなみについて、文化や活力が感じられる景観づくりをめざします

地域景観づくり

地域の各所にある身近で魅力的な景観資源を活かして、個性と愛着あふれる地域の景観づくりをめざします

協働の景観づくり

市民や事業者、行政など、多様なひとびとが関心をもち、協働の景観づくりをめざします

どのような取組をしているの？

目標に向かって、いろいろな取組をしているよ。景観計画に定められている主な取組について、これから紹介するよ！



●いろいろな取組

まも 守る ～みんなから愛される大事な景観を守るために～

- 取組1 重要な建物や樹木を守り、景観づくりに活かしていきます ▶ P6
- 取組2 「視点場」を設定して、熊本らしい「眺望景観」を守り・育てます ▶ P7
- 取組3 特に景観づくりに力を入れている地域があります ▶ P9

よ 良くする ～まちの景観をより良くするために～

- 取組4 良い景観づくりのために方針や基準をつくっています ▶ P11
- 取組5 大きな建物などをつくる場合、市に届け出が必要です ▶ P11
- 取組6 看板などの広告物にも基準があります ▶ P12

すす 進める ～もっと景観づくりを進めるために～

- 取組7 公共施設のデザインは、専門家と一緒に話し合いながら決めています ▶ P13
- 取組8 地域の人たちが進んで地域の景観づくりに取り組めるようサポートしています ▶ P14

まも 守る ～みんなから愛される大事な景観を守るために～

とり くみ 取組 1

重要な建物や樹木を守り、景観づくりに活かしていきます



景観重要建造物「吉村邸」(南区川尻)

景観重要建造物

地域の歴史を伝えてくれる貴重な建物や地域で愛される建物などは、「景観重要建造物」に指定しています。

良い景観をつくっている建物として、将来も守られるように、屋根や壁を修理する工事費用を補助するなど、市でサポートしています。



市内には歴史を感じるすてきな建物がたくさんあるのを知っているかな？



景観重要樹木「オクス通りクスノキ」(中央区上通町)

景観重要樹木

まちのシンボルのような樹木や、多くの人から親しまれる樹木は、「景観重要樹木」に指定しています。

大切に守りながら、地域の景観づくりに活かしていきます。



まちなかの大きな樹木や沿道の並木などは、四季を感じさせてくれたり安らぎを与えてくれたりするよね。

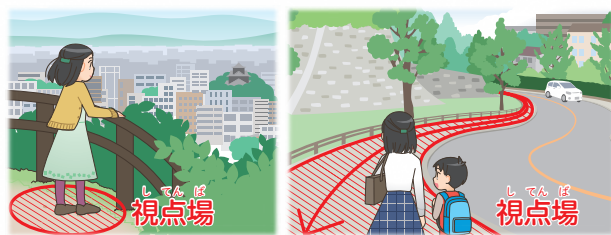
とりくみ 取組 2

「視点場」を設定して、熊本らしい「眺望景観」を守り・育てます

視点場ってなに？

視点場は、景色などをながめる人が位置する場所のことです。視点場は立ち止まって見る場所のほかに、歩きながら変化する景観を楽しむ場所もあります。

熊本市では、熊本城が見える広場や道路、江津湖を見わたせる橋や園路などを視点場としています。



市民や訪れる人から愛され、熊本らしい「眺望」を楽しむことができる場所を、「視点場」として設定しているよ。



なぜ視点場を設定する必要があるの？

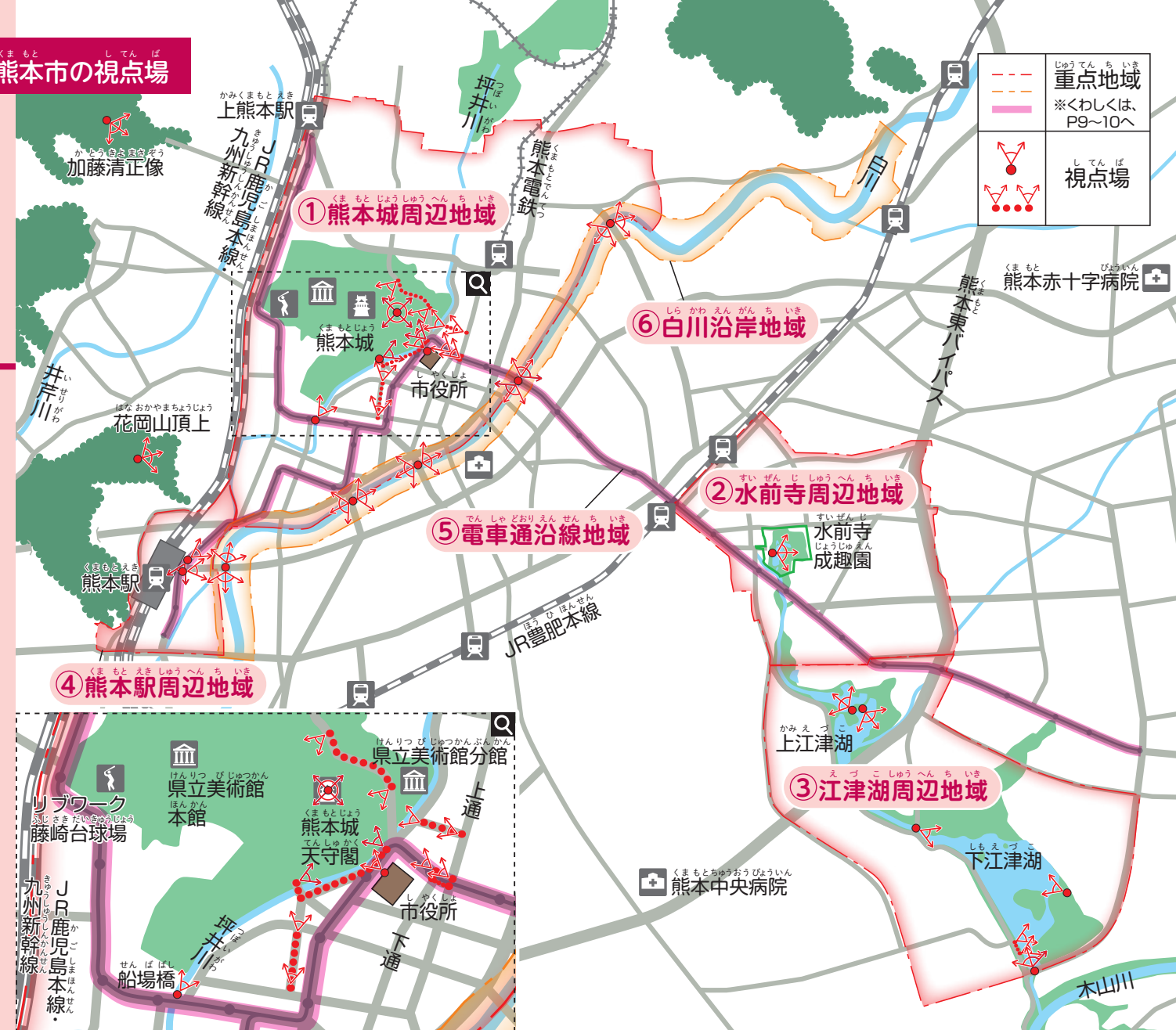
熊本らしい景観は、暮らす人にとっては日常の景観として、また、訪れる人にとっては心に残る特徴的な景観としても大切なものです。

そうした多くの人から親しまれる景観が、将来失われることがないように守っていくために視点場を設定しています。

眺望景観ってなに？

眺望景観とは、視点場から景色などをながめるときに、目で見える景観のことです。

熊本市の視点場



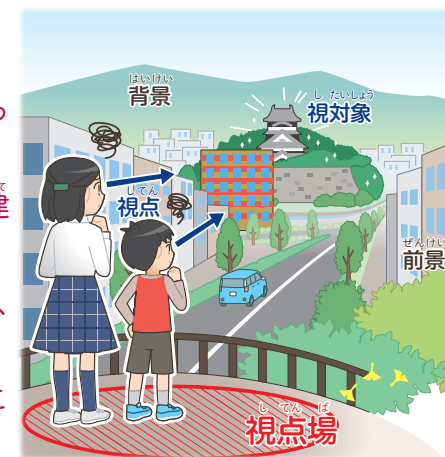
どのように熊本らしい眺望景観を守り・育てていくの？

視点場からながめられる眺望は、いろいろなものが重なりあって見えています。

例えば、熊本城の天守閣と石垣をながめようとすると、山や建物も一緒に見えます。

この場合、視対象の天守閣・石垣につりあわない建物があると、熊本らしい良い景観と言えるでしょうか？

計画の中では、建物をつくる時などに、景観についてどんなことに気を付けてほしいか、景観づくりの考え方を示しています。



とりくみ 3

特に景観づくりに力を入れている地域があります

市内には、特に景観づくりに力を入れている
6つの地域があって、「重点地域」と呼んでいるよ。
重点地域の特徴にあった景観の基準に合わせて
建物などをつくると、良い景観になっていくよ。

重点地域の場所は8ページの図を見てね!



なぜ重点地域を設定しているの?

市内にはいろいろな景観がありますが、その中でも特に市民や観光客などから親しまれ、熊本らしさを感じられる地域があります。そういった重要な地域の景観を守っていくために、「重点地域」を設定し、地域の特徴にあった景観づくりを進めています。

重点地域の特徴にあった景観の基準は、
どんなものがあるの?

例えば、建物などの位置や高さ、かたち、色や材料などの基準があります。基準に合わせてつくった各重点地域の将来イメージは次のとおりです。

① 熊本城周辺地域



- ・建物の前に空間をつくることで、熊本城の石垣や緑が見やすくなるようにしましょう
- ・看板などの広告物は、熊本城天守閣へのながめや、天守閣からのながめをじゃましないようにしましょう など

② 水前寺周辺地域



- ・水前寺成趣園の古今伝授の間から、広告物や建物が見えないように工夫しましょう
- ・園内の湧水池や緑地は、手入れをして美しく保ちます など

③ 江津湖周辺地域



- ・公園周辺の住宅地は、できるだけ樹木や生け垣で、建物が見え隠れするように工夫しましょう
- ・公園内から見える建物の上には、看板などの広告物を出さないようにしましょう など

④ 熊本駅周辺地域



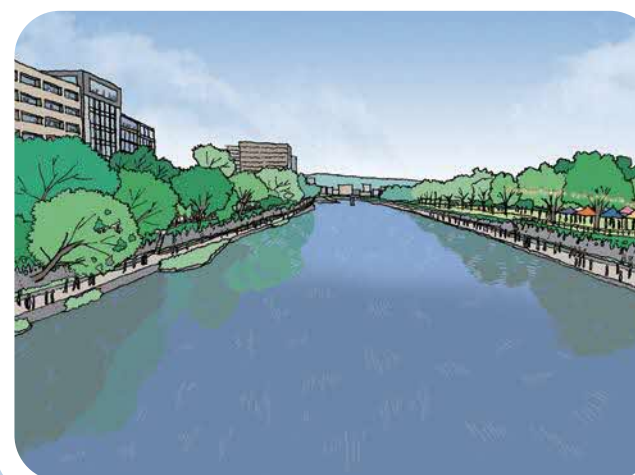
- ・建物の色や看板などの広告物は、派手な色は使わないようにしましょう
- ・街路樹(沿道の樹木)は、手入れをして美しく保ちます など

⑤ 電車通沿線地域



- ・交差点に面する建物は、後ろに下がることで、ゆとりある空間となるよう努めましょう
- ・屋上の広告物は、建物と一体化したデザインにしましょう など

⑥ 白川沿岸地域



- ・川を意識した建物デザインに努めましょう
- ・樹木より高い位置に広告物が見えないようにしましょう など

とりくみ
取組 4

良い景観づくりのために 方針や基準をつくっています

良い景観づくりをしていくために熊本市では景観づくりの方針や基準をつくっているよ。
たとえば、新しく建物を建てたりするときに、みんながそれぞれ好き勝手につくると、
景観はどんどん悪くなってしまうので、基準にそって建ててもらっているんだ。

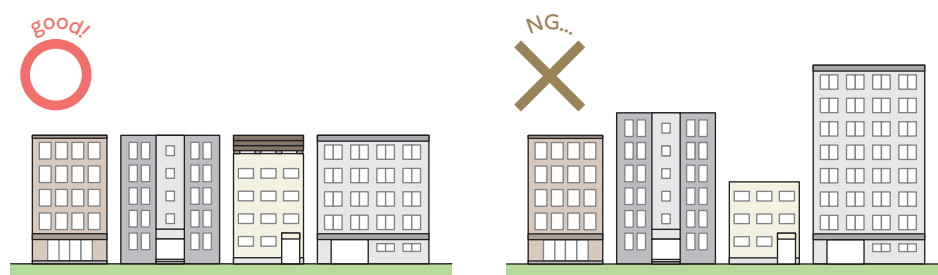


景観の基準はどんなものがあるの？

たとえば、建物などの位置や高さ、かたち、色や材料などの基準があります。

景観の基準の例

- 高さ 『壁の位置や建物の高さをそろえるなど、
まちなみの魅力アップにつとめること』

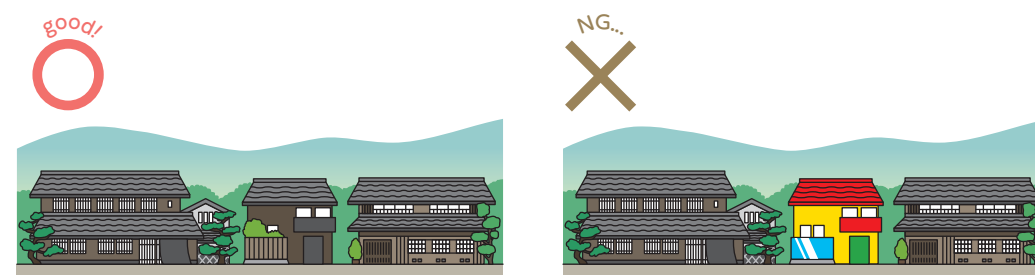


高さがそろってる
ほうが、整って
落ち着いたまちなみ
になるね！



景観の基準の例

- 色 『歴史的なまちなみ地区では、
風情あるまちなみの雰囲気をこわさないこと』



歴史的な建物と
調和した色を
つか
使うと、
まとまりがあって
すてきだね！



とりくみ
取組 5

大きな建物などをつくる場合、 市に届け出が必要です

熊本市では、大きな建物を新しく
ついたり、色をぬりかえたりする
場合には、市に届け出をしてくら
い、市で✓チェックしているよ！



なぜ届け出が必要なの？

大きな建物などは、周辺の景観への影響
が特に大きいからです。

市内で大きな建物などを建てようとして
いる人から、市に届け出をしてくら
うことで、計画している建物のかたちや色などが、
市の景観の基準に合っているか、チェック
することができます。

とりくみ
取組 6

看板などの広告物にも 基準があります

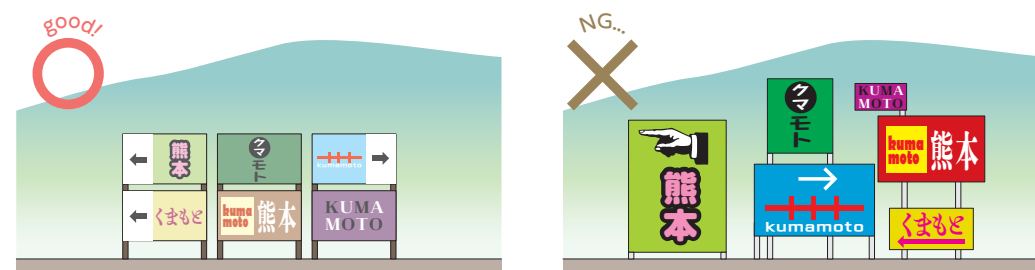
建物の外に設置される看板などの
広告物は、周辺の景観に大きな
影響を与えてしまうんだ。
だから基準を定めて、市に申請して
もらうことで✓チェックしているよ。



景観の基準の例

●表示面積

『看板がたくさんある場合には、大きさを
そろえるか、集合化に努めること』



左のほうが
まとまってすっきり
見えるね！



とくみ
取組 7

公共施設のデザインは、専門家と一緒に話し合いながら決めています



道路、川、公園などの公共施設や公共の建物をつくるときに、どんなデザインがふさわしいのか、景観の専門家と一緒に意見交換をしながら決めているよ。

なぜ専門家と話し合っているの？

公共施設や公共の建物は、多くの人に見られるので、良い景観づくりのモデルとなる必要があるからです。専門家にアドバイスをもらいながらつくことで、良い景観が生まれます。

専門家のアドバイスをもとに整備した例



手取本町地下道出入口(整備前)



手取本町地下道出入口(整備後)



水前寺成趣園の周りの道路(整備前)



水前寺成趣園の周りの道路(整備後)



整備前よりもずっとすてきになった！歩いてみたいな♪

とくみ
取組 8

地域の人たちが進んで地域の景観づくりに取り組めるようサポートしています



景観を良くしていくためには、市だけでなく、地域の人たちの積極的な活動が必要なんだ。だから、地域の人たちが活動しやすいよう、市でサポートを行っているよ。

サポート例

新たな地域の見どころをつくるため、地域で親しまれている歴史的な建物や樹木などをライトアップする取組を、地域の人たちと一緒に取り組んでいます。
(くまもとライトスケープ・キャラバン)



白川夜市

新町・古町地区や川尻地区の歴史的なまちなみを守っていくために、町家などの建物の修繕に対する工事費用を補助するといったサポートを行っています。
(町並みづくり助成金)



新町・古町地区の城下町の風情を感じられる町並みづくりガイドライン

地域で景観づくりに取り組む人や団体が、景観の専門家に相談できるよう、市が窓口となり専門家を派遣しています。
(景観アドバイザー制度)

